

備前市 事務事業 評価表

事業の概要			
事務事業名	備前地域ごみ処理広域化事業	コード	01-01-14-13
事業開始年度	平成19年度～	根拠法令・要綱等	新岡山県ごみ処理広域化計画 備前地域ごみ処理広域化対策協議会
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	担当課(室)
	中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	環境課
	小項目 施策	ごみ処理	職・氏名 衛生係長・森本和成
		電話	64-1821

事業の実施			
対象 (誰・何に対して)	備前ブロック(備前地域ごみ広域化対策協議会)		
目的 (何のために)	ダイオキシン類の削減対策や最終処分場の確保の難しさ、リサイクルの必要性の高まり、公共事業の削減などに対応し、効率的にごみを処理し、施設整備が安価になることから計画されている新岡山県ごみ処理広域化計画に基づき、備前地域ごみ処理広域化を推進する。		
行政活動 (どのような方法で)	備前地域ごみ処理広域化対策協議会において、ごみ処理施設を整備する。		
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	ごみ処理が広域で処理が可能となり、効率的にごみ行政が推進でき、施設整備や維持管理費が安価になるとともに、ダイオキシン類の削減対策や最終処分場の確保の難しさが克服できる。		

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	会議回数	回		4	6
	直接事業費	千円			1,874
	人件費			1,585	718
	事業費計		0	1,585	2,592
	国県支出金	千円			
	受益者負担				
	市一般財源		0	1,585	2,592
	必要人員	人		0.16	0.07
	結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績
結果指標量		説明			
対前年比		%	-		
活動コスト		円			
結果指標	結果指標量	説明			
	対前年比	%	-		
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
成果指標名	式又は説明		
成果指標量	17年度	18年度	19年度
対前年比			
到達目標値	到達目標年度		

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	ダイオキシン類の削減対策等を踏まえたごみ処理広域化改革の策定が旧厚生省から通知され、岡山県では平成10年3月に計画を策定し、その後、その計画が見直され、平成19年3月に新たな「新岡山県ごみ処理広域化計画」が策定され、その計画書に基づき協議会が設立されている。	
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	備前ブロックは、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町で構成されている。	
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A-E>	
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	C	
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
職	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価<A-E>	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	C	
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	新岡山県ごみ処理広域化計画に基づき、備前地域ごみ処理広域化を推進している。	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		

平成20年度の状況		
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	説明
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している	平成19年度から事務局が和気町から赤磐市に変更となり、事務が徐々に前に進んでいる。	
目標値	結果指標量	結果指標量
成果指標量		

総合評価		
ごみの処理は避けられない問題であり、広域化は以前から協議されてきたが、前に進んでいなかったが、事務局が変更になり、事業が前に進んでいる。本市としても、今後とも推進する必要がある。	評価区分 <A-E>	C

平成21年度以降の方向性		
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	平成20年度で廃止・完了
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果